

「やってみる」を、 やってる人が います。

PR TIMES(ピーアール タイムズ)は、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービスです。
全国の企業、団体、自治体から、街の民芸品店や地元の飲食店まで、幅広い業種の企業・事業者(50,000社超)にご利用いただいています。

やらないこともできた。待つこともできた。

いまの状況、みんな慎重になるのは当たり前。

そんな中で、とりあえず、やってみて、
それを伝えようとした人がいます。

「やってみる」

そして、それを誰かに伝える。

その発信は、きっと届きます。

それだけで、沖縄が何か変わっていきけるかもしれない。

やらなかった人が、「やってみる」かもしれない。

何をしたらいいかわからないなら、

先にやった人のマネをすればいい。

社会には、そんなやってみた人たちのヒントがあふれています。

みなさんの発信が、次の誰かを勇気づけ、ヒントになって、

次の「やってみる」を生み出します。

行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

PR TIMES

大変な時こそ
ちよとした工夫と思いやりが
大きな力となる

OKINAWA
Blessing
The moment of freedom

角倉 真理



CASE 01
株式会社オキナワプレッシング(うるま市)

まず自分たちに
できることを行動する

あらゆるシーンで使用するウエットスーツを、国産生地と型紙にこだわって製造販売しています。しかし、コロナ禍が始まると、受注がピタッと止まりました。今後への不安はありましたが、まず、薄いウエットスーツの生地で作ったマスクを作り、さらに取引先やまわりの方々にお配りしました。これが思った以上に好評だったため、急きょオンラインショップを立ち上げて販売を開始。あわせてプレスリリースも配信したところ注文が殺到しました。沖縄県からの自粛要請もあって、工場のシャッターを下ろし、しばらくは内部でマスクの製造に専念しました。さらにマスクを契機にお客様に当社のウエットスーツを知っていただき、その販売が伸びています。「時間ができたこんな時だからこそ」とスタッフで知恵を出し合い、洗えるバッグや水着代わりに手軽に着られるウエットスーツも開発しました。その後も、通販でフルオーダーに対応できる非対面型採寸システム開発しています。自分たちにできること、お客様やまわりの方が必要としていることを考え、行動し続けています。自分の問題を解決したら人の役に立つことも考える。それが巡り巡って自分にも返ってくる。大変なときこそ工夫と思いやりが力になるのかなと思っています。



マスクには紅型柄のウエットスーツ用生地も使用



沖縄らしさをファッション性を意識したウエットスーツも

READ MORE



上記のリンク先「沖縄タイムス+プラス」で取材記事全文を掲載中

おいしい県産の島イチゴで
人を、社会を、元気に!

beyond okinawa
OKINAWA ICHIGO
美らイチゴ

代表取締役社長

野口 豪



CASE 02
株式会社 美らイチゴ(南城市)

沖縄の人に
摘みたでのイチゴを

イチゴは摘み取った瞬間が一番おいしく、その後は甘みも瑞々しさも失われていきます。本土で収穫されたイチゴが沖縄の消費者に届くまでに最低3日かかるので、ウチナーンチュは本当においしいイチゴを食べていないともいえます。そこをなんとかしたい、沖縄の人に摘みたでの最高においしいイチゴを食べてもらいたい。そんな思いでイチゴ狩りが楽しめる観光農園を2016年に始めました。1シーズンに約3万人のお客さんが訪れるほどになりましたが、イチゴがなくなるとせっかく来てくれた方を断ることもありました。そこへコロナの影響で県外客も海外客もほぼゼロに。でもこんな時だからこそ、地元のお客さんにおいしい県産の島イチゴを食べて元気になっていただきたいと思っています。

さらに、通年でおいしいイチゴの味を提供できるように、2020年12月にはイチゴスイーツを扱う農園カフェ「美らイチゴ南城市本店イチゴパナレ」をオープンしました。摘みたでのイチゴを使ったサンドやパフェ、通年提供可能なプリンやドリンク、かき氷などをそろえています。イチゴ狩りに加えて、お客様に県産イチゴの味を楽しんでもらえるようになりました。こうした取り組みを発信して、私たちの思いがこもった島イチゴの魅力を広く知ってもらえるよう努めています。



農園カフェでサンドやプリン、ドリンクなどをどうぞ



県産島イチゴがいつか沖縄の誇りになってくれるといいと思う

READ MORE



上記のリンク先「沖縄タイムス+プラス」で取材記事全文を掲載中

何かできないか考え続ける
むしろ止まっているのが不安

トウモロ
徳森養鶏場

代表取締役

ノーマン 裕太ウエイン



CASE 03
徳森養鶏場(うるま市)

オンライン通販で
卵を全国配送

祖父が50年心血を注いだ養鶏場を自分が継いだのは2017年、27歳の時です。市場に出荷する場合の鶏卵価格は相場に左右されるため将来性に不安を抱き、直売の割合を増やしたいと思いました。まず、スタッフとともに試行錯誤をくり返した結果、伊計島特産の黄金イモや地元の水を使って「くがにたまご」という味のいい卵の開発に成功し、オンラインショップも立ち上げました。卵は常温でも3週間生食OKなので通販には向いているのですが、割れやすいのがネック。そこで内部にウレタンケースを納めた「がんじゅうBOX」というパッケージを独自開発しました。さらにお客様に安心して買ってもらえるよう「割れ保証」もつけました。そうした取り組みを発信したことで、多くの方に知ってもらえるようになりました。結果として、売上げが伸びて取組に手応えを感じています。

コロナはたしかに大きな影響があります。だからといって「立ち止まっているとよけい不安」な性分なので2020年12月、直売店をオープンしました。「Gold Coast TAMAGOYA(ゴールドコースト たまごや)」というこの店、日本一景色のいいたまご屋というキャッチフレーズで産みだした「くがにたまご」やそれを使ったサンドイッチ、スイーツのほか、オリジナルTシャツなども販売しています。地域おこしのことも考えて地元の与勝に出店したので、自分たちの商品だけでなく、地域の魅力も一緒に発信していきたいと思っています。



自社で開発したオンライン通販用パッケージ「がんじゅうBOX」



カフェのような雰囲気を目指したGold Coast TAMAGOYA

READ MORE



上記のリンク先「沖縄タイムス+プラス」で取材記事全文を掲載中